

生き活きと輝き、誇れるまちの今をあなたに届ける

Public Relations 報 Since 1962. 湯 前

<http://www.yunomae.com/>
[まちの情報誌ゆのまえ]

田んぼって楽しい——

特集 高校生たちの熱き挑戦

Next STAGE

ネクストステージ

7

The Monthly
July 2018
Vol.445

感じた一プレーの重み。
後悔のないよう楽しみ、
自分らしいプレーをしたい。

Madoka
Taniguchi



Profile

小学5年生から友人と湯前さわやかクラブ「だんだん」のソフトテニス教室に通い、中学、高校でも競技を続ける。高校2年時に県の新人戦で団体4位。ことしの県高校総体で、個人7位入賞し九州大会へ。ボレーを武器に前衛を担当。

谷口円佳

熊本県高校総体
ソフトテニス個人戦女子7位
球磨中央・球磨商業高校3年 上村

特集 高校生たちの熱き挑戦

NextSTAGE

ネクストステージ

インターハイ(全国高等学校総合体育大会)。スポーツに励む高校生たちの季節がやってきた。今回は、夢に向かって挑戦した本町の若きアスリートたちに注目だ。

ソフトテニス・個人戦女子の部は5月27日から6月4日まで熊本県民総合運動公園で行われ、球磨中央・球磨商業高校の谷口円佳(同校3年上村)・鍛鎌涼菜(同2年人吉市)ペアが7位入賞を果たし、九州大会への出場権を得た。

はねのけたプレッシャー

持てる力をすべて発揮

個人戦では6位までが全国大会へ、7、8位は九州大会に進出する。昨年秋、県の新人戦でメンバーとして、団体ベスト4入りを果たした谷口さん。結果を自信に変え、着実に力をつけてきた。今回の目標はベスト4以上。全国大会へ出場することだった。

高校最後の県総体。今までにはないほど緊張していた。迎えた初戦、ラケットを握る手は震えていた。「後悔のないよう、楽しむ気持ちを持とう」。気持ち切り替え、徐々に自分のペースをつかんだ。1回戦の勝利が試合を楽しく気持ちを大きくさせた。二人は順調に5回戦まで勝ち進んだ。

準々決勝で県下一番の強豪、尚綱高校の選手に敗戦。全国への枠は残り二つ。運命の5位〜8位決定戦は4組による総当たり戦で行われた。初戦を1対4で落とし、あとがない。残りの2試合を2勝。なんとか食い下がり、2勝1敗で3組がならんだ。勝敗を分けるのは得点差。谷口・鍛鎌ペアの最終順位は7位。6位との差は2セット。全国大会にほんのわずか届かなかった。「プレーの大切さが身にしみた。しかし、得意のボレーもよく決まり、今まで以上に自分らしいプレーができた。悔いはない」。谷口さんは自分の持つ力を発揮した。

3年間で一番の成長は「礼儀」。中学までは他人に言われてから行動することが多かったが、高校生になってからは自分から行動するようになった。監督や家族、仲間、支えてくれる人のために勝ちたいと思うようになった。行動はプレーを変えた。まわりが見えるようになった。相手の動きをみて、コースをつけるようになった。過去にはソフトテニスと距離を置いたこともあったが、3人の同級生全員が引き留めてくれた。つないでくれた。「練習がつかなくてもみんながいたから頑張れた。九州大会に行けたのもみんなのおかげ」。谷口さんは仲間への感謝の気持ちを忘れない。



「後輩がつかないでくれたボールを得点にしたい」と話す谷口さん。二人はよく意見を交わしながら、それぞれの役割を果たしている

後輩がつかないでくれたボールを得点に

ペアを組むのは一つ下の後輩。鍛鎌さんが後衛から積極的にボールを打ち込み、谷口さんが前衛で守るスタイルだ。「後輩だけど、逆に指示してくれることもある。お互い素直に意見を言うことができる仲間だと思う」とそれぞれの役割をしっかりと理解している。

九州大会は7月13日に宮崎県宮崎市生目の杜運動公園で開会し、同15日まで開かれる。二人の目標はベスト4に入る。谷口さんは「後輩がつかないでくれるボールをしっかりと得点につなげられるようなプレーがしたい」と意気込みを語った。

谷口・鍛鎌ペアの大会成績

1回戦	球磨中央・球磨商	4-1	九州学院
2回戦	〃	4-1	菊池
3回戦	〃	4-1	学園大付
4回戦	〃	4-0	熊本商
5回戦	〃	4-1	熊本中央
準々決勝	〃	1-4	尚綱
◇5〜8位決定戦 ※総当たり			
	球磨中央・球磨商	1-4	玉名工
	〃	4-3	熊本中央
	〃	4-2	熊本工



地面を離れて空高く飛ぶために。「恐怖心よりも好奇心」。だれしもが恐怖心と戦うが、森川さんはポジティブにとらえて競技へ挑む。その気持ちがいい助走を生み出している



自身2度目の出場となった南九州大会。1年前には飛ぶことのできなかつた高さをクリア。高いレベルで競えるほどに成長した(写真=南稜高校提供)

どんな舞台だって
攻めの姿勢を忘れない。

県高校総体棒高跳び3位
同南九州大会9位
南稜高校3年 下村

森川勝己

Katsuki
Morikawa



県高校総体陸上・男子棒高跳びは6月2日にえがお健康スタジアムで行われ、南稜高校陸上競技部主将の森川勝己さん(同校3年II下村)が3位入賞。6月15日に沖縄県で開かれた南九州大会の舞台に立った。

体調不良でも自己ベスト

県総体を迎えるまでの自己ベストは昨年の秋に記録した3^位90^{センチ}。ことしの県総体は最低でも3位入賞が目標。当日発熱し、体調は最悪の状態だったが、4^位の壁をクリアしてみせた。「助走はよかったが、踏み出しの部分で若干スピードが乗らなかつた。もっといけたと思う」と森川さんは自身の最高記録にも反省した。

一つ上のレベルで戦えた

南九州大会は県大会から一気にレベルが上がる。スタートは3^位60^{センチ}から。それは1年前、自己ベストの高さだった。当時は飛ぶことができず、結果は「記録なし」。悔しい思いをした。リベンジを誓った。

迎えた2度目の南九州大会。ことしの目標は6位入賞し、インターハイに行くこと。飛んだ高さが同じ場合、試技^{*}の少なさで勝負が決まる棒高跳び。序盤の失敗は大きく響く。

その序盤。プレッシャーが森川さんを襲い痛恨のミス。取り返そうと3^位90^{センチ}を跳び、森川さんは勝負に出る。4^位をパス。挑んだのは4^位10^{センチ}。高さは足りていた。ポールの押しがわずかに弱く、バーに体がふれた。結果は9位だった。「記録には満足していないが、一つ上のレベルの選手たちと同じ場所で競えたことはよかつた」と森川さんは最後の総体を振り返る。

2刀流からの選択

中学時代は人吉球磨郡市の大会で3000^{センチ}1位。長距離選手として活躍した。入学当時も長距離の選手として入部。棒高跳びと出会ったのは1年生の夏だった。技術を駆使して高く飛ぶところに魅力を感じた。監督に相談

成長を実感する喜び

始めたばかりのころは、うまく飛べなかつた。「的確な指示で、ずっと信じてやってきた」と棒高跳びを専門とする山崎圭三^{けいぞう}監督に指示を仰いだ。

ポールの反動を使う感覚やタイミン^グは反復練習で培い、自分の体に叩き込んだ。体操競技のような体の使い方やしなやかさは、吊り輪や鉄棒、トランポリンなどの器械運動で養った。記録はほとんど伸び始めた。「勝てなかつた相手に勝つ喜びを実感した」と棒高跳びにのめりこんでいった。

4^位30^{センチ}を越えたい

「記録が伸びると、まわりの人も喜んでくれる。喜びを分かち合うことがうれしい」と主将は実力でも部員を引っ張ってきた。長距離の練習にも交じり、自身の競技外でも部を盛り上げた。

次は秋の国体に照準を合わせる。「自己ベストを出して終わりたい。4^位30^{センチ}を飛ぶことが目標」。森川さんは攻めの姿勢を忘れない。さらなる高みを目指している。

※棒高跳びは3回続けて失敗するまで挑戦できる

6月3、4日にえがお健康スタジアムで行われた県高校総体陸上男子4×400リレー。福田慎之介さん（球磨工業高校3年Ⅱ上村）が第3走者を務めた球磨工業高校は2位で南九州大会へ出場した。

強い気持ちで流れをつなぐ

「チームとして、県大会を突破することは前提だった」と話す福田さん。すでに県内で頭角を現していた。予選第1組。先頭は球磨工業だが、2位、3位も迫る状態で福田さんにバトンが渡る。福田さんはその差をキープしつつ、

県高校総体4×400mリレー2位
同南九州大会7位

**強い気持ちで
チームの流れをつなぐ。**

徐々に広げて第4走者にバトンを渡し、1位で決勝へ進出した。

決勝戦。全国大会常連の九州学院が頭一つ抜け、ほかは均衡していた。福田さんは2位とほぼ同着の3位でバトンを受けた。「一人で走るレースより、全員後半が強くなる。いかに気持ちを強く持ち、最後まで走れるかがカギ」と話す福田さん。腰の故障で練習は思うようにできていなかったが、意地で差を広げさせない。不調ながらも粘った。バトンを受け取ったエースが後続を突き放し、球磨工は3分21秒59のタイムで2位を勝ち取った。

届かなかった0・05秒

福田さんは2年生のときにもリレーメンバーとして県総体に出場したが、南九州大会には出場しなかった。競技者として立つ初めての大舞台は予選第3組での登場。「調子は良かった。いい走りが出てきた」と前半からスピードに乗った。その結果、同校は3分18秒7のベストタイムを記録し決勝へ進んだ。

決勝は台風の影響で翌日へ順延。これがアスリートの感覚をわずかに狂わせた。第3走者にバトンが渡る時点で予想より迫る後続。「焦りもあった。

1 基礎を徹底的に鍛えることで、400mを走るための筋力と自信をつけた福田さん 2 懸垂、うら懸垂、懸垂逆上がりの3種類10回を2セットずつ。毎日筋力トレーニングを欠かさなかった永池さん



Shinnosuke Fukuda

福田慎之介
球磨工業高校3年 上村

Profile

中学時代から中距離選手として活躍し、県大会800mで2位。高校でも400m、800mを専門に競技。400m 51.60秒。最後の総体では第3走者としてチームの勢いをつなぐ役割を果たした。

Kiyoharu Nagaike

永池純青
同校3年 馬場

Profile

中学時代は短距離専門。高校ではジャンプ力を評価され、走り幅跳びを競技。3年生から三段跳びにも挑み、「5人目の選手」として同リレーにも控えた。400m 53.21秒。

**専門種目を越えて、
4人と同じ気持ちで。**

集中することができなかったと福田さんは決勝での走りを悔やんだ。結果は3分20秒14で7位。6位との差は0・05秒。ほんのわずかに届かなかった。

「5人目」の選手

「みんな全力を出した。本当によく頑張った」とねぎらう永池純青さん。（同校3年Ⅱ馬場）専門は走り幅跳びで、ことし4月から三段跳びにも挑戦。一方で監督から足の速さを見込まれ、リレーのサブメンバーとして大会に控えた。

ことし4月の熊本県選手権では、腰を故障した福田さんに代わって永池さんが出場した。「4人のうち一人でも欠けたら『お前がいくぞ』と常に監督から言われていた。気持ちは選手と同じ。自分もいつでもいけるように心の準備をしていた」と永池さんは話す。

体力と自信は基礎から

中学時代、800m県大会で2位になるなど活躍した福田さん。「自分は短い距離のスピードはないが、中距離なら勝負できる」と高校でも同じ種目を選んだ。しかし、入部当初は高校の

高い壁に阻まれた。「400mは後半だけだけ粘れるかが勝負。走るための筋力が不足していた」と自分を見つめた。ただ走るだけでなく、ウエイトや体幹トレーニングなどで徹底的に基礎を鍛えた。2年生になるころには体力だけでなく、自信もついていた。

「走り幅跳びと400mでは、走り方も違う。種目が増える分、練習はとて大変だった」。永池さんは3種目の練習をこなした。毎日欠かさなかったのは筋力トレーニングと鉄棒。多くのメニューをこなせるようになり、競技に必要な体力がついた。

心が成長した3年間

陸上生活は一区切り。現在、二人は就職に向けて勉強に励んでいる。福田さんは「練習はきつかったが、振り返ってみると何もやっていないときより、やっていたときの方が楽しかった。今となってはいい思い出。入部してよかったと思う」。永池さんは「いろんなことに我慢強くなれたと思う。心と体を鍛えることができた3年間だった」と振り返る。部活動を通して、二人は大きく成長していた。

特集 ネクストステージ(完)

※8月号では人吉高校カヌー部の二人を紹介する予定です

ゲートボール男子V 陸上男子は2位



走り幅跳びと100mの2種目で2位を獲得した東さん



砲丸投げで2位となった村山さん

第68回球磨郡民体育祭

は5月17日のグラウンドゴルフ競技で幕を開け、球磨郡9町村が24種目で熱戦を繰り広げています。

5月22日に錦町民グラウンドで開かれたゲートボールでは男子が優勝しました。5月27日に多良木町の多目的総合グラウンドで開かれた陸上競技は、走り高跳び(29歳以下)で175cmを記録し、5年連続の1位を獲得するなど、各選手が奮闘。男子は昨年からの順位を一つ上げ2位、女子は4位と例年以上の結果を収めました。

ゲートボール

男子

- ① 湯前町
- ② 錦町
- ③ あさぎり町

女子

- ① あさぎり町
- ② 錦町
- ③ 球磨村
- ④ 湯前町

弓道

団体

- ① あさぎり町
- ② 湯前町
- ③ 錦町
- ④ 湯前町

個人(男子)

- ③ 向江富士夫

ゴルフ

- ① あさぎり町
- ② 錦町
- ③ 多良木町
- ⑤ 湯前町

グラウンドゴルフ

団体・男子

- ① 多良木町
- ② 水上村
- ③ 球磨村
- ⑥ 湯前町

団体・女子

- ① 多良木町
- ② 相良村
- ③ 錦町
- ⑥ 湯前町

個人・女子

- ⑤ 今田ヨシ子

ソフトテニス

- ④ 荒木龍二・淋憲治

陸上

団体

- 男子総合 2位
- 女子総合 4位

男子

- 100m (29歳以下)
- ② 野田 翔平
- 100m (30~39歳)
- ② 東 雄峰
- ③ 滝上 紘史
- 100m (40~49歳)
- ① 荒木 龍二
- 100m (60歳以上)
- ③ 亀山 哲馬
- 400m (29歳以下)
- ② 工藤 正明
- 1500m (40歳~49歳)
- ② 福屋 博樹

女子

- 2000m (70歳以上)
- ③ 亀山 哲馬
- 走高跳 (29歳以下)
- ① 測上 駿
- 三段跳 (29歳以下)
- ③ 測上 湧太
- 走幅跳 (30歳~39歳)
- ② 東 雄峰
- ③ 滝上 紘史
- 砲丸投 (29歳以下)
- ① 森川 未月
- 砲丸投 (30歳~39歳)
- ② 村山 大輔
- 砲丸投 (40歳~49歳)
- ② 椎葉 弘樹
- 4×100mリレー (29歳以下)
- ① 湯前町
- 4×100mリレー (30歳~49歳)
- ② 湯前町

女子

- 100m (34歳以下)
- ③ 樋口 美佳
- 100m (35歳以上)
- ③ 椎葉 加奈
- 砲丸投 (34歳以下)
- ① 安井 佳奈
- 円盤投 (34歳以下)
- ② 安井 佳奈



自己ベストの175cmを成功させ、5連覇を達成した測上さん



ゴールテープを先頭で切った荒木さん(100m)



1 優勝決定戦で錦町に勝利し、悲願の優勝をつかんだゲートボール男子 2 一本一本に集中する弓道の選手 3 ホール目がけてパターを振りぬく、グラウンドゴルフの選手





大きく育つことを願ってイモを植える園児

大きく育つのが楽しみ

慈光こども園イモ植え

慈光こども園(藤岡洋子園長)のイモ植えが6月4日に上里3区の畑であり、3歳～年長児45人が300本のイモの苗を元気に植えました。

取り組みは園児の食育として毎年行われているもの。今回用意されたのは紅あずま、紅はるか、安納の3種類。11月ごろに園児みずから収穫。イモは給食に使われたり、各家庭に持ち帰ったりする予定です。

園児たちは帽子をかぶり、長靴姿で園から歩いて畑へ移動。保育士から「苗をななめにしてから植える」「どろをかけて軽く抑える」などと説明を受けてから植えていました。年長児の迫田弥龍くん(中里2)は「イモが大きく育つのが楽しみ」と収穫を待ち遠しく感じていました。



児童へ18冊の本を手渡した会員

明るく元気な児童になって

明るい社会づくり運動で本寄贈

明るい社会づくり運動人吉・球磨協議会(犬童哲郎会長)が6月6日に湯前小学校(菅原浩子校長)を訪れ、本18冊を寄贈しました。

同協議会は地域貢献を目的につくられ、本の寄贈は平成18年から。本年度は6校に寄贈。湯前小への寄贈は平成22年以来、2度目。本は平成30年度の西日本読書感想画コンクール指定図書で、低・中・高学年にそれぞれ6冊ずつ。

贈呈式は体育館で開かれ、全校児童192人を代表して溝辺飛伽さん(同校6年=浅鹿野)、内藤愛奈さん(同=下里)が会員から本を受け取り、「みんな本が大好き。たくさん読みたい」とお礼を伝えました。本は児童たちの読書感想画の題材としても使われます。



元気よくどろの中へ飛び込む児童たち

どろの中でおおはしゃぎ

湯前小5年生どろんこ遊び

湯前小学校(菅原浩子校長)のイモ植えとどろんこ遊びが6月15日に、同校グラウンド近くの水田と畑であり、5年生35人が全身泥まみれで楽しんでいました。お米を作る準備として、楽しく水田の土をかきならすために行われ、球磨地域農業協同組合(JA)青壮年部が協力。イモ植えでは200本の苗を植え、バケツでたっぷり水を与えていました。

水着姿の児童は水田に入るとおおはしゃぎ。水しぶきを上げながら、追いかっこをして楽しそうに遊んでいました。苗床幸隆さん(同校5年=野中田2)は「友達どろを投げ合ったりして楽しかった」と笑顔で話していました。同21日には田植えも行われました。

合同授業で交流深める

西米良・湯前中交歓会

湯前中学校(古家慎也校長)と宮崎県の西米良中学校(内之八重正裕校長)の交歓会が5月30日に湯前中学校で開かれ、両校の生徒たちが合同授業で親ぼくを深めました。

交流は毎年会場を交互に移して開かれ、ことしで61回目。対面式では、生徒92人を代表して生徒会長の藤岡顕将さん(湯前中3年=上里3)が「昨年招いてもらった恩返しをしたい。楽しい思い出を作って一緒に交流を深めましょう」と、西米良中の生徒21人を歓迎しました。

1年生は英語と音楽、2年生は国語と数学、3年生は保健体育と理科を両校の教諭から教わりました。両校の生徒たちは昼食やレクリエーションも笑顔で楽しんでいました。



短距離のトレーニングに汗を流す両校の生徒



本年度の計画について話し合うメンバー

タブレットの相談会などを予定

ICT活用推進協議会総会

湯前町ICT(情報通信技術)活用推進協議会(会長=鶴田正巳町長)は5月29日に、湯前町役場で総会を開き、会員11人が今後の計画などを話し合いました。

同協議会はICTをまちづくりに活用しようと平成25年度に設立。町関係者や商工会、区長会、民生児童委員、小・中学校長など12人が会員になっています。昨年度は小・中学生へ漫画授業やプログラミング教室、高齢者向けのタブレット教室などを行いました。総会では事業計画や予算案などを審議。本年度は高齢者向けのタブレット、スマートフォンの相談会や、キッズプログラミング、町ホームページのリニューアルの検討などを行う予定です。



ことしの体制について確認し合った各団体の代表者ら

災害への備えを再確認

防災・水防会議

本町の防災・水防会議が6月5日に湯前町保健センターで開かれ、25機関の代表44人が防災計画の変更点や災害時の防災対策について確認しました。

多良木警察署、上球磨消防署、自衛隊、熊本地方気象台などの関係機関や、消防団、地域婦人会、青年団、区長会などの地元団体が参加。荒木龍二消防主任が発災後4カ月の対応など、国・県の計画の変更点を受けた、「町防災計画」の追加・修正を紹介。旧南部保育所を新たに指定避難所にするための施設整備を行い、町民の防災意識を高めるための広報活動を強化することなどを説明しました。各機関からも災害時の体制についての説明・確認が行われました。

みんなが気軽に 集まれるルールウイングに

昨年10月からユノカフェをルールウイング内でオープンさせた奥球磨スマートタウン研究所(横山正人代表理事)。ことし4月1日からルールウイング全体の指定管理者としてカフェ・まんが図書館・展示体験販売施設の3施設を運営しています。

どのような思いで施設を運営しているのか、代表理事の横山さんに話を聞きました。

奥球磨スマートタウン研究所

よこやま まさと
代表理事 **横山 正人**さん(67)

Profile
長崎総合科学大学名誉教授で九州地域情報化研究所代表。ICTを使ったまちづくりを専門に各地域でアドバイザーを務める。湯前町ICT利活用協議会アドバイザー。昨年10月からユノカフェを運営。ことし4月からルールウイングの指定管理者。



INTERVIEW

スタートは「湯前が好き」

奥球磨スマートタウン研究所はICTを使って、皆さんと一緒に地域の課題を解決し、活気のあるまちづくりをお手伝いをする会社です。私たちが湯前に行くようになったのは平成23年から。地域情報化の研究活動がきっかけでした。その後も、情報発信の講座を開催するなどしてきました。たくさんの方の住民とかかわり、湯前に愛着が湧きました。

すべてのうまみを合わせる

私も皆さんと活性化を考えてきた一人。ルールウイングをたくさんの方が集まる場所にしたいと思っていました。アイデアを形に

するのは難しいもの。カフェの運営は素人ですが、自らしっかりとした形をつくりたいと思いました。

例えば、まんが図書館で本を読んだ人が、カフェに行き、展示施設でイベントに参加する。3つの施設のうまみを合わせなければ先はありません。

そのためには、年1、2回のイベントだけでなく、「ここにすれば何かやっているぞ」と多くの人に思わせる必要があります。行政ではできない民間の自由な発想で、町のにぎわいと町への人の流れをつくりたいです。

「オール」が集まる場所へ

同世代ばかりが集まる場所は今までありませんでした。ターゲットは

「オール」。子どもから大人までみんなが集まる場所にすることで。子育て中の世代が集まれるようなメニューやイベント、自転車に乗った小・中学生が立ち寄れる気軽さ。高齢者がお茶を飲みながら会合。みんながいこえる場所でありたいと思います。

展示体験販売施設は町外からの問い合わせが多い状態ですが、生涯学習やクラブ活動など、町の人にもたくさん使ってほしいです。カフェと連携した食のイベントや、子どもの教育の場、チャレンジショップとしての活用も考えています。フリーマーケットの開催などウッドデッキ部分も有効に使い、町の魅力を発信していきたいです。

※問い合わせは
奥球磨スマートタウン研究所
(TEL090-5289-8563)まで

■小学生の親子向けプログラミングワークショップを開催
「オゾボット」という手のひらサイズのプログラミング教育用のロボットで遊びます。

【日時】 7月1日(日)
午前の部10時~11時30分 午後の部1時30分~3時
【定員】 各10組(各20人程度)
【場所】 レールウイング内の展示体験販売施設
【料金】 無料

INTERVIEW



地域に求められる公社の運営を 皆さんと考えていきたい

6月1日、湯前町農業公社の新理事長として熊本市出身の飯田敏博さんが就任しました。公社のリーダーとして農業公社の経営にかかわることになった飯田さんにその思いを聞きました。

湯前町農業公社

いいだ としひろ
理事長 **飯田 敏博**さん(57=上村)

Profile
熊本市出身。九州東海大学農学部卒。昭和60年に青年海外協力隊でタイへ。農業大学で大豆の栽培や育種などの技術指導を担当。その後、種苗会社、商社、商品会社、語学会社で勤務。平成18年から国際NGO、JICAでラオスへ行き、地域開発や貿易促進にかかわる。県ラオス友好協会の理事を務め、農業公社理事長へ就任。

住民と意見を 交わしたい

私はタイの農業大学の先生や生徒に、大豆の栽培や品種改良を教えていました。ラオスでは地域開発にかかわり、森林の保全や無農薬栽培の技術を指導しました。

湯前は田園風景が広がる静かな町というのが第一印象です。神社やお寺があり、仏教の風習が香るまち。親近感が湧きました。できるだけ早く地域に溶け込みたいです。

町おこしを含めた農業公社の運営は、あくまで町の人たちが主体です。生産者やほかの住民、事業所などと、町の農業や農業公社について話を聞いていきます。農地は立地条件や作業効率などを見ながら、今後、栽培を続けていけるかどうかを検討します。

人脈を生かして 経営のヒントに

インターネットも広まりました

が、ビジネスは人間同士の信頼が必要。人脈をフルに活用します。

NPO法人とタイアップした新規就農者の呼び込みを町や関係機関と話し合いながら検討したいと思います。

東海大学の教授や学生と交流し、講演や研究調査で、まだ使っていない地域資源の利用や発酵食品へのアドバイス、新技術開発につながればと思っています。他の農業法人や種苗会社などとの関係も強化し、新しい情報やアイデアを手に入れることで経営のヒントにしていきます。

ポジティブに 課題へ取り組む

作物や商品の開発は地域性を持たせながら、話題を引くおもしろいものができればと思っています。町の事業所と協力しながら付加価値をつけて開発・

販売していきたいです。

現状、公社は水田や畑の管理、精米所の管理やふるさと納税への出荷が主な作業。売上向上も私一人ではどうしようもありません。スタッフも高齢化しています。若いスタッフも勤務できるような待遇の改善を行っていきたいです。

経営計画を見直し、1年の間に道筋を見つけたいです。公社の存在が地域に必要とされるように課題に取り組んでいきます。簡単ではありませんがネガティブな考えをポジティブに変えていきます。



SPORTS B&G 海洋センターだより



水辺の安全教室に参加しませんか？

～SUP・レスキュー体験会～

安全に楽しく水に親しむため、
上球磨消防署の協力で水辺の安全教室を
開催します。

夏休みの思い出づくりに参加してみませんか？

1. 期 日 **7月21日(土)** 午前10時～午前11時30分
2. 場 所 湯前町B & G海洋センタープール
3. 対象者 どなたでも
4. 申込み B & G海洋センターへ電話で申し込み(Tel.0966-43-4555)
5. 準備物 水着・帽子・ゴーグル(必要な人)・濡れてもいいTシャツ
6. 参加料 無料
7. その他 当日は、身近なものを使った落水時の浮遊、レスキューチューブやライフジャケットを使ったレスキュー、SUP(スタンド・アップ・パドルボード)体験を行います。
※同日午前中は、プールで泳いだり歩いたりはできません

申し込みは 湯前町B&G海洋センター:工藤(Tel. 0966-43-4555)まで

いわと あきとし じょくん 西岩人さんと森山昭敏さんに高齢者叙勲

地方自治の発展に貢献したとして、高齢者叙勲を受けた二人への伝達式が
5月28日に湯前町役場で開かれ、鶴田正巳町長が勲章と勲記を手渡しました。

「叙勲を受章できたのは、町の皆さんのおかげ」と話す二人

88歳になった功労者に内閣総理大臣から勲章が贈られるもの。元町議会議員の西岩人さん(88=馬場)と森山昭敏さん(88=下村)が「旭日単光章」を受章しました。西さんは「大きな喜びになった。勲章をいただいたのも町の皆さんのおかげ」、森山さんの息子の宏さん(60=下村)は「父が88歳の節目をこのように迎えられるのも町の皆さんのおかげ。本当にありがたい」と話していました。



森山 昭敏さん
(88=下村)



西 岩人さん
(88=馬場)



▲柵にからむ、たくさんの草を取り除く参加者たち

◀約500本の柵がきれいになった



雨の中、協力しながら除草作業に励む親子

JTの森ゆのまえ 森林保全活動

雨に負けず、道の整備や スポーツ交流に汗流す

Hotopi
ホットなわだいをあなたへ

JTの森ゆのまえ森林保全活動が5月26日にゆのまえグリーンパレス炊飯棟一帯で行われ、日本たばこ産業株式会社(JT)の社員や地元住民292人が、作業道の整備やスポーツなどで交流しました。

両者は平成25年11月に「JTの森第2期森づくり協定」(5年間)を結び、約208畝の町有林で間伐や植林などを実施。春と秋に交流活動も行っています。今回は九州各地の社員やその家族、湯前小学校の緑の少年団員、地元住民らが参加しました。

開会式では、加藤和人九州支社長と鶴田正巳町長があいさつしたあと、丹呉泰健会長が「参加できてうれしい。これだけ多くの人が集まるのは湯前だけだと思う。地域の森林活動がさらに、さかんになることを願っている」と述べました。

当日はあいにくの雨で予定していた活動を一部変更。希望者約100人は雨がっぱ姿で鎌を持ち、作業道500畝の草刈りに汗を流しました。B & G海洋センター体育館ではビーチボールバレーをして交流。昼食はバーベキューをし



木工体験を一緒に楽しむ親子



B & G体育館では地元住民とJT社員らが汗を流し交流

て、おいしいお肉をほおぼりました。その後、参加者はサツマイモの苗植えや木工、トランポリンなどの体験や温泉入浴に分かれ、それぞれ楽しんでいました。

初めて活動に参加した宮林優さん(28=熊本支店)は「思っていたよりも広くて作業が大変だったが、雨でも楽しく作業できた。なかなか社員同士で集まる機会もないので、良い交流の機会にもなった」と話していました。

戸籍の窓

平成30年5月1日～5月31日

ご結婚おめでとう

深松 勇貴 (あさぎり町)
武藤 佑依 (植木)

鶴田 伸太郎 (下城)
榎本 千秋 (神奈川県)

たんじょうおめでとう

ふちがみ ひな
淵上 陽愛 尚悟 (野中田3)

ご冥福をお祈りします

馴松 高 (瀬戸口)
右田 紀代子 (瀬戸口)
村上 ミサ子 (野中田2)
篠下 勝 (中里1)
那須 久元 (浅鹿野)

香典返し

平井 富男 (上村)
太田黒 明美 (植木)
馴松 延広 (熊本市)
村上 力男 (野中田3)
右田 美千代 (瀬戸口)
椎葉 美紀子 (上里2)
嶋田 サワ子 (人吉市)
那須 武文 (浅鹿野)

Dietary habits 管理栄養士だより

「のどが渇く前」に水分補給を

「のどが渇いたな」と思ったらすでに黄信号。体内の水分が不足しています。体内の水分不足はいろんなトラブルを引き起こす原因になります。「のどの渇き」を感じる前に水分を補給しましょう。

【水分の量】

飲み物でとる水分量は1日約1.2ℓですが、夏場は1.5～2.0ℓほど補給しましょう。

特に高齢者はのどの渇きを感じにくいので、起床時、朝食、昼食、夕食、間食(10時・15時)、お風呂上がり、就寝前などと決めておくのもおすすめです。

水分補給の例 (1日で1.6ℓ)



※腎臓、心臓などの疾患で治療中の人は医師に確認して水分をとってください

管理栄養士 田中 朋子

Health 保健師だより

野外では露出を少なくしましょう ダニ媒介の感染症に注意

管内でウイルスを持つマダニにかまれ、感染症(SFTS:重症熱性血小板減少症候群)に感染した80歳代の女性が亡くなっています。この感染症は西日本を中心に21府県で発病症の届けがあり、5月～8月に多く発症しています。

1. 裏山やあぜ道にも注意

シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が現れる場所に多く生息しています。民家の裏山や裏庭、畑やあぜ道にもいます。

2. 野外では腕、足、首などの露出を少なく

- ・首 元……タオルを巻く
- ・シャツ……袖口は軍手や手袋の中へ、すそはズボンに入れる
- ・ズボン……すそを靴下でおおい、長靴の中に入れる
- ・上着を室内へ持ち込まない。ダニがついていないかシャワーや入浴で確認

3. かまれたら医療機関へ

吸血中、無理に取り除くと、マダニの口器が皮膚の中に残り、化膿することがあります。医療機関で適切な処置を受けましょう。数週間は発熱などの体調の変化に気をつけてください。潜伏期間はかまれてから6日～2週間です。

4. 市販の薬に頼りすぎないで

マダニを寄せつけない薬(忌避剤:デイト、イカリジン配合)も市販されていますが、完全に防げる訳ではありません。他の防護手段と組み合わせて使いましょう。



※マダニは人以外の野生動物やイヌ・ネコも吸血します。イヌやネコが媒介する可能性もあります。動物との接触や飼育にも気をつけてください。

保健師 中西 博子

Ecolog ごみ情報

ごみ出しのマナーが悪くなっています

※ごみ袋に名前を書かない人がいます。必ず名前をフルネームで書いてください

※近ごろ、燃えるごみに燃えないごみが入っています。きちんと確認して分別してください



燃えるゴミの中に入っていた燃えないゴミ(壁掛け時計)

スマホで収集日を確認しませんか? 『人吉球磨ごみ分別アプリ』

ごみの出し方や収集日などが確認できるアプリが無料配信されています。

ダウンロード後、住んでいる地域を選ぶだけで使うことができます。

いつでも、どこでも検索することができます。

【機能】 ・ごみ収集カレンダー

・ごみ分別辞典(各2000品目のごみの出し方が分かる)

・出し忘れ防止の「アラーム機能」

・「よくある質問」「関連業者の連絡先」など



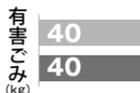
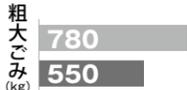
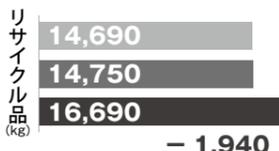
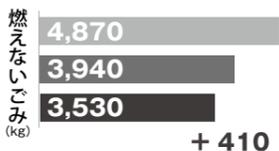
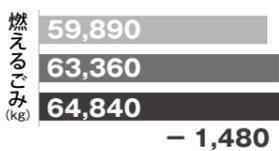
Android



iPhone

ダウンロードは無料
(通信料は別途かかります)

※7月の不燃物収集は 4日、18日 です(第1・3水曜日)



Books 読書のススメ

中央公民館図書室 ※貸出期間2週間/一人5冊まで
○平日 午前8時30分～午後5時 ○土日・祭日 午前9時30分～午後5時
園教育委員会 TEL0966-43-2050



一途な情熱の物語
小説 ちはやふる 上の句
有沢 ゆう希 (著) 講談社

綾瀬千早は高校入学と同時に、競技かるた部を作ろうと奔走。幼馴染の太一と仲間を集め、夏の全国大会に出場するため。強くなって、新と再会したい。幼いころ、かるたを取り合った、新に寄せる千早の秘めた想いに気づきながらも、太一は千早を守り立てる。

策謀渦巻く大学病院の、神の手とは?
ブラックペアン1988
海堂 尊 (著) 講談社

1988年、世はバブル景気の頂点。「神の手」をもつ佐伯教授が君臨する東城大学外科教室に、帝華大の「ビッグマウス」高階講師が、食道がんの手術を簡単に行える新兵器「スナイプ」を手みやげに送り込まれてきた。『チーム・パチスタの栄光』に繋がるミステリー。



歴史小説家の優しさ溢れる随筆
河のほとりで
葉室 麟 (著) 文藝春秋

臨済の「済」の字には「河の渡し場」という意味がある。中国、唐末の僧・義玄は、河北省の二沱河(こたが)に臨済院を建てて禅を広めたことから臨済禪師と呼ばれた。臨済は「河のほとり」とも読めるのだ。目配りの確かさと敗者の歴史への優しさ溢れる随筆。

たなばたさま
住井 すゑ (著) ブッキング

西省5人の「領主」の一つ「王家」は評判の高い領主だったが、となりの領主に攻められて亡くなり、子どもの白光と紅華の兄妹は川下の領土へ逃れ、そして、その妻は死んで天の川の星になった。その後兄妹は奴隷になり、離れ離れになったが……。

旬のものを食べる ～梅雨時期の真っ赤なルビー～



いただいたのは真っ赤なグミ。まるで宝石のような輝き

「最近一年中同じ野菜が食べられるが、旬が分からなくなってきている」。ある日テレビから聞こえてきました。湯前に来てから、無人販売所や物産館の野菜を見て旬を知りました。この時期の野菜は色とりどりで、見ているだけで楽しいものです。



リポーター
安井 佳奈

「庭にいっぱいあったけん」とビニール袋いっぱいに入った木の実をもらいました。やわらかくて真っ赤な実。楕円形で大きさは3割ほど。何の実なのか聞いてみると「グミ」(茱萸)という実でした。「子どものころよく食べた」という人が多数。一つ食べてみました。甘酸っぱさと少しの渋み。まるでさくらんぼのようでおいしい。ますます気になったので、調べてみました。

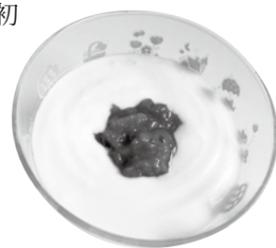
私がもらったのは、大王グミ(びっくりグミ)という種類ようです。たくさん種類があり、春グミや秋グミなどもあります。品種によって違いますが、ほとんど梅雨の時期が旬。あまりお店で売られることはなく、家の庭などになっていることが多いそうです。

「ゆのまえかじり」はこちらから



量が多かったので「グミジャム」を作ってみました。甘酸っぱい味で、パンにぬってもよし、クッキーに練りこんでもよし。私のお気に入り、ヨーグルトにまぜる食べ方。ヨーグルトに入れると、少し残っていた渋みが消えてさらにおいしくなりました。身近にグミの実がある人には、氷砂糖につけてシロップやみりんを作るレシピを教えてくださいました。

町の人のやさしさで初めて出会えた、グミの実とそのおいしい食べ方。これからも旬のものをおいしく料理して食べてみたいです。



渋みが消えてさらにおいしく、ぜひお試しあれ



息子ともども遊びたおそうと思います

協力隊のゆのまえ暮らし(隊員がゆる～く近況報告)

B&Gで夏を乗りきろう

6月某日、梅雨入りし、子どもと退屈していたのでB&G海洋センターのプールへ。プール好きの息子は、大はしゃぎ。遊びながら「今日の夜もまた来よう」と息子が一声。それは勘弁してください。低料金でたっぷり遊べる海洋センター。ことしもたっぷりお世話になろうと思います。目指せ、体重マイナス2kg!



今月の隊員
森田 明大

青年団だより



元気な3人が入団しました、よろしくお祈りします

◇3人の仲間が増えました

- 田代 翔也(28=田上) 写真:左
- 島田 みはる(20=下村) 写真:中央
- 椎葉 賢也(24=田上) 写真:右

ことしも新入団員含め、青年団全員で頑張ります!



◇6月17日(日) 4年ぶりの晴天、体育祭

ここ数年は体育館での開催でしたが、当日は見事な晴天。4年ぶりに外で開催されました(あさぎり町高山運動公園)。球磨郡の青年団みんなで盛り上がり、熱く、楽しい1日となりました。本団は5位でしたが、工藤正明さん(24=馬場)が100m走で1位を獲得しました。

これから

- 7月7、8日 球青協企画部事業(芦北青少年の家へ)
- 9月8、9日 球青協文化祭 須恵文化ホール



1 100m走で1位、笑顔でゴールする工藤正明さん
2 みんなが全力でつないだリレー
3 みんなのきずなのみせどころ? 団対抗大縄跳び

Smile

ゆのまえがお

湯前中学校 校長
古家 慎也 さん
(53)



□ひとこと

「生徒が主役、毎日笑顔を大切にしています」

「笑顔がすてき」「何かPRしたい」などたくさんの人を待っています
企画観光課 地域おこし協力隊まで TEL 0966-43-4111

Front Page

今月の表紙

「汚れなんて関係ない」。そう言わんばかりにはしゃぐ湯前小学校の5年生。田んぼでどろんこ遊びをしました。ことしの5年生たちは田んぼに足をつけるのをためらうことなく入水。飛んだり跳ねたりして、最初から最後まで全開で楽しんでいました。



編集後記

▼今回取材した高校生たち。質問した内容に生き生きとした表情で、しっかりと返答。中学生のころと比べて、大きく成長しているなと感じました。真剣に取り組む生徒たちだからこそ、その背中を押したくなります。次のステージでも自分らしく輝いてほしいです。来月号では全国大会に出場する高校生も紹介する予定です。暑い夏はまだ続きます。▼6月20日に土砂災害警戒情報が発令されました。溝のはん濫や恐ろしいと感じるほど川の流れました。大雨の怖さを改めて感じました。災害は「他人ごと」ではなく「自分ごと」。自分の命を救うため。防災のマップや非常持ち出し品の確認はすんでいますか? 早目の避難と普段の備えを徹底しましょう。▼ジメジメどんよりの梅雨。頭痛がしたり、体調がすぐれなかったりする一人が私です。体の不調を引き起こす湿気を、東洋医学では「湿邪」と言うそうです(テレビ知識)。ツボを押したり、下半身を温めたりするといいか何とか。気分の晴れない梅雨を、何とか乗り切りたいものです。(宏)

【お詫びと訂正】

6月号15頁の戸籍の窓で誤りがありました。訂正し、深くお詫び申し上げます。
[誤] 平井ミヨ(古城) [正] 平井ミヨ(上村)

生き活きと輝き、誇れる町の今をめぐりに掲げる

ごえんカフェ 池田幸江さん、愛瀬久美さん

古城 右から1番目 下城 右から2番目



VOL.11
フォーカス
Focus
Focus on hot human.

みんなで集まり 「おしゃべり」できる温かな場所

L 字型のかやぶき屋根が目印。古城区の樅木ツヤさん宅で池田幸江さん（69歳古城）と愛瀬久美さん（66歳下城）が4月1日から「ごえんカフェ」をオープンさせ、新たな「ご縁」が生まれている。

介護の仕事をしていた二人。高齢者が家の外に出るきっかけをつくり、「おしゃべり」する場所をつくるためにカフェを開いた。毎週水曜日の午前10時から午後3時までの間で、お茶や軽食などを提供している。ボランティアが目的のため、料金は100円と格安だ。

「旬のものを食べるのが体に一番」と軽食には季節の食材を使用。低塩を心がけ、毎回献立を変える。午前10時30分には、みんなでテレビと向き合い「いきいき百歳体操」をする。ゆっくりしていつてほしいという願いから、体操後には昼食も提供している。

わらの屋根で天井は高く、室内は涼しい。広い土間のテーブルに腰をかけ、集まった人みんなで会話を交わす。入った瞬間に「おかえりなさい」という声が聞こえてきそうなほど居心地のいい場所だ。池田さんは「移動の問題もあるけれど、ほかの地区からも来てもらえるとうれしい。エプロンに長靴姿でも構わない。作業の合間や、ちょっとした休憩がてらにでも寄ってほしい」と笑顔で来客を出迎えている。



1



2

1 毎回献立を変えて、旬のものを使う。お客さんも食材を提供するなど、みんなで協力し合う
2 温かでゆっくりとした場所。ここに集まると会話ははずむ
3 L字型のかやぶき屋根が目印。天井は高く、室内は快適



3